

事務事業名	39900 文化振興事業	予算科目	会計 一般 10 4 2	所管課	生涯学習課	担当班	文化振興班
基本施策	13 芸術文化の振興・伝統文化の保存	根拠法令	旭市文化振興基金条例、旭市文化振興規則ほか				
施策の展開	26 芸術文化の振興	戦略事業	129 文化施設の利用助成事業	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業		
施策の展開		戦略事業	130 文化振興事業				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	文化振興事業(あさひ青少年少女合唱団補助金を除く)とは、1. 千葉県東総文化会館にて市主催のコンサート・寄席・音楽祭・あさひのまつりなどを開催し、2. 市内で活動する歌謡・舞踊などの団体に対し、東総文化会館を使用する際に文化施設使用料を助成する事業。 1. 市主催事業 (有料):津軽三味線コンサート、ロシア交流コンサート、あさひ寄席 (無料):市民音楽祭、あさひのまつり、市文化祭、文化講演会、スプリングコンサート、NHK公開番組 2. 使用料助成 歌謡、舞踊、カラオケ施設使用料の半分の助成している。(上限、回数制限[年度1回限り]有)		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
合併前の旭市文化振興基金、海上町文化振興基金に属していた現金、有価証券その他の財産により、新市文化振興基金を設置した。	文化振興基金は毎年ほぼ5,000千円以上の額を取り崩しており、H28年度末をもって基金を廃止し、一般会計に移行する。	・文化振興審議委員会議にて、基金の廃止について説明。H28年度末廃止。参加者から「身近に見てよかった」等の意見があった。 ・助成を受けた団体の発表者から「助成が年1回になったので、開催回数を年1回に減らした」といった意見があるほど、この文化会館を利用する団体にとって助成金のメリットは大きい。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算) 単位:千円								
1.公演等委託料	5,509	3.有料公演事業委託料等	5,509	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
2.建物等借上料	3,228	4.使用料助成	805	12,597	9,054	5,175	5,509	5,675
3.報償金	1,420	5.その他	2,594	4,453	3,279	3,555	3,228	4,500
4.使用料助成	805			1,270	1,400	1,481	1,420	1,370
5.その他	2,594			883	895	885	805	1,000
				2,698	2,717	2,805	2,594	3,227
② 特定財源の内訳 (27年度の決算) 単位:千円		事業費計 (A) 千円 21,901 17,345 13,901 13,556 15,772						
1.国庫支出金	0	1.国庫支出金	0	21,901	17,345	13,901	13,556	15,772
2.都道府県支出金	0	2.都道府県支出金	0		2,419			
3.入場料収入	3,211	3.入場料収入	5,204	5,204	4,211	3,680	3,211	2,473
4.その他	4,294	4.その他	8,596	8,596	5,897	2,380	4,294	4,201
		5.一般財源	8,101	8,101	4,818	7,841	6,051	9,098

前年度増減理由	公演会場費、諸経費等減少
---------	--------------

従事職員数	常時 2人	最大 5人	× 1日 = 延べ 5人
-------	-------	-------	--------------

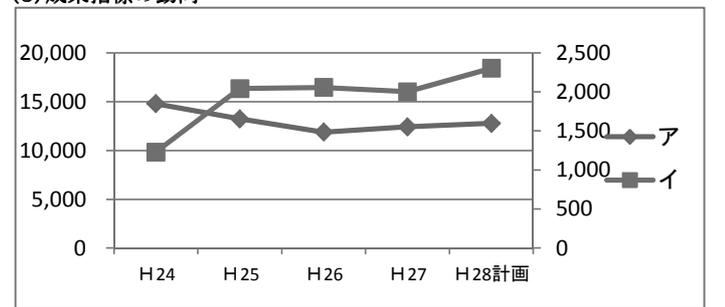
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	27年度実績 (27年度に行った主な活動) NHK公開番組、津軽三味線柴田三兄妹コンサート、市民音楽祭、あさひのまつり、市文化祭、ロシア交流コンサート、文化講演会、あさひ寄席、スプリングコンサート、文化施設使用料助成		ア 市主催事業回数	回	11	10	9	9	9
			イ 使用料助成件数	件	14	14	15	13	15
目的	② 対象・意図 (対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	対象意図 ① 市民 ① 普段味わえない質の高い文化を楽しむ。 対象意図 ② 市の文化団体・サークル ② 助成金のおかげで大きな舞台で発表することができる。		ア 市主催事業の観覧者数	人	14,788	13,231	11,871	12,418	12,775
			イ 助成によって参加できた団体の発表者数	人	1,228	2,042	2,055	2,000	2,300

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果				② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	①		評価結果	①	(1)	
	普通				②		
	小さい				③		
				④⑤			
				⑥			
				⑦⑧			
				⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難									
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)										
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	比較	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
【コメント】 (低下の場合、その理由)					成果動向	24年度	25年度	26年度	27年度	28計画
					ア	△ 74	△ 1,557	△ 1,360	547	357
					イ	△ 627	814	13	△ 55	300
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組み事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	① H29年2月	① 県との合同主催による県民芸術劇場を実施する。		平成28年度末	文化振興基金廃止に伴う新年度予算財源の移行					